

北海道支部創立 60 周年記念兼「第 38 回東北・北海道地区集会（交流ハイク・登山）」のご案内

期日：2025 年 7 月 11 日（金曜）～12 日（土曜）

場所：北海道・洞爺湖温泉 & 洞爺湖有珠山ジオパーク（支笏洞爺国立公園）



有珠山噴火を報じる新聞＝2000 年 3 月 31 日

20 世紀以降、4 回噴火してきた北海道の有珠山エリアは、地域住民と温泉街が火山と向き合ってきた歴史があります。活火山がつくる美しい景観や温泉の恵みとともに、火山災害の教訓と備えを伝え続ける温泉街や行政、住民らの取り組みを広く知っていただく機会になればと、直近の 2000 年噴火から 25 年になる今年、この集まりをこの地で持つことにしました。

夏の北海道登山、旅行の足掛かりや中継地として、洞爺湖温泉街／洞爺湖有珠山ジオパークにお越しになりませんか。

「山」2 月号でご案内していますが、まずは支部内で会員・会友の皆様へ、告知と参加希望者を募っていただきたく、ご案内いたします。不明な点などがございましたら、以下の黒川までご連絡願います。

黒川 090-9020-0425、yamakuroneko@gmail.com

■記念式典・講演（講演者＝洞爺湖有珠火山マイスターネットワーク事務局長・川南恵美子さん）：11日14時～、洞爺湖文化センター

■宿泊：洞爺観光ホテル（虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉23、0142-75-2111）

懇親会（夕食・2時間飲み放題）18時～、同ホテル宴会場

■交流登山（ハイク）：12日

①有珠山ロープウェイ～有珠山火口原（1977年噴火の現場）～有珠山登山道

※定員30人 4.5～5時間めど、健脚者限定・別途ロープウェイ片道代900円

②昭和新山（1943～45年噴火の現場）＋三松正夫記念館でのレク受講※定員30人

4時間めど、健脚者限定・別途三松正夫記念館入館料300円

③西山山麓の噴火口・災害遺構群巡り（2000年噴火の現場）※定員40人

3時間めど



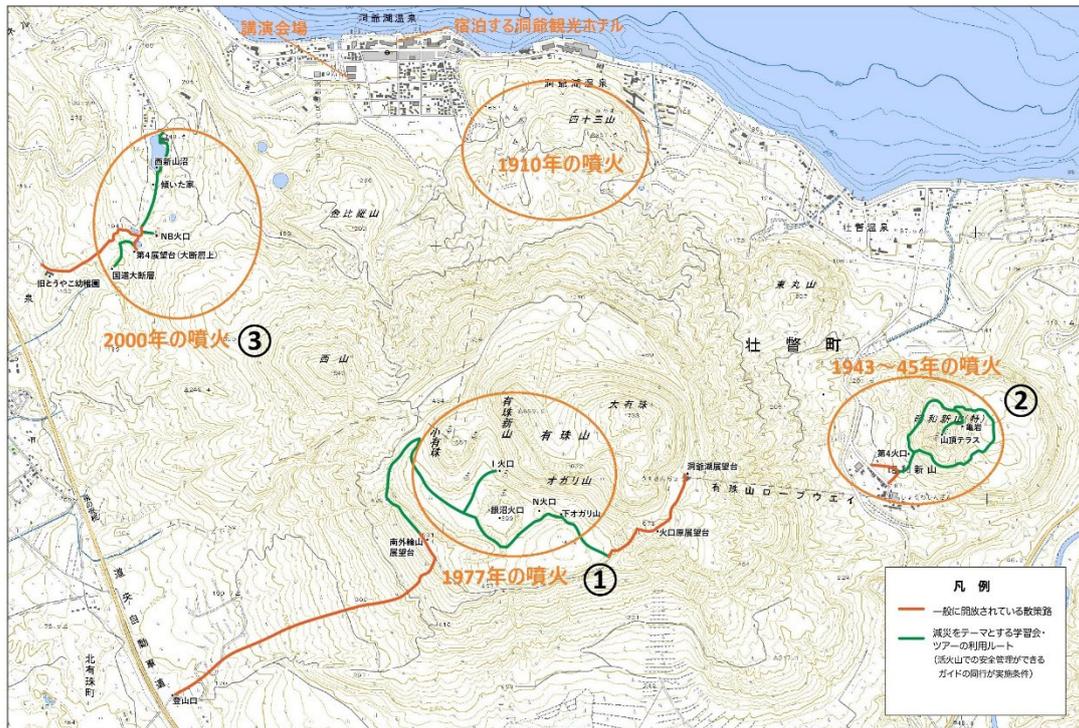
① 1977年噴火現場で
ある有珠山火口原



②1943～45年噴火で隆起して
できた昭和新山



③ 2000年噴火現場で60余りの噴火口ができ、
地盤隆起でズタズタになった国道230号



講演会場、宿泊地と3つの交流登山（ハイク）の位置

※7月12日の交流登山（ハイク）はいずれも、火山マイスターにガイドしてもらい、一般者は入れない立ち入り規制エリアに入ります。希望は伺いますが、往復のバス定員（最大40人）と行動上の制約などから定員があり、最終的な班分け決めは事務局判断とさせていただきます。必要に応じてご相談させて下さい。

■会費（ホテル宿泊・夕朝食費・懇親会費・12日の往復バス代・ランチ代など）：1人2万2000円の予定。

※ホテル宿泊の部屋割りは、支部単位、男女別で1部屋4人が基本になり、事務局にお任せ願います。1部屋2人、3人にすることも可能ですが、追加料金がかかること、ご了解ください。その場合、申込時に書き添えてください。

■申し込み

近く、支部単位でのエクセルファイルの申し込み用紙をお送りしますので、参加希望者の氏名、会員番号、連絡先、①～③の希望を記載の上、5月中旬（可能ならば4月末）までに送り返していただければ幸いです。

